

平成28年度 一般会計等財務書類概要版

- ◆ 町民1人当たりの資産・負債・純資産及びコスト(一般会計等)  
 資産:2,292千円 負債:413千円 純資産:1,879千円 行政コスト:448千円
- ◆ 総資産のうち、将来世代の負担義務のない正味の財産である純資産の比率(純資産合計÷資産総額)は、82.0%と将来世代が利用可能な資源が蓄積されていることがわかります。

1. 貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

基準日(平成29年3月31日)において、住民サービスを提供するために町が保有している資産とその資産をどのような財源で調達してきたかを総括的に対象表示した一覧表です。

この貸借対照表では、左側(資産の部)に町が保有している土地・建物・資金などの「資産」を示し、右側(負債の部・純資産の部)に、その資産を形成したために将来の世代が負担し、今後支払いが必要となるもの「負債」と、これまでの世代が既に負担し、支払いの必要がないもの「純資産」がいくらかあるのかが示されています。

資産の部		金額	負債の部		金額
1 固定資産		36,858,924	1 固定負債		5,973,666
(1)事業用資産 役場庁舎、学校、町営住宅等		16,938,514	(1)地方債		5,872,967
(2)インフラ資産 道路、公園等		17,888,893	(2)退職手当引当金		99,596
(3)物品 公用車、備品等		504,884	(3)その他		1,103
(4)無形固定資産 ソフトウェア等		7,301	2 流動負債		933,841
(5)投資その他の資産 投資、出資金、長期債権等		1,519,332	(1)1年内償還予定地方債		820,218
2 流動資産		1,483,849	(2)賞与等引当金		79,498
(1)現金預金		637,744	(3)その他		34,125
(2)基金		809,299	負債合計		6,907,507
(3)その他		36,806	純資産の部		
資産合計		38,342,773	1 固定資産等形成分		37,668,592
			2 余剰分(不足分)		△ 6,233,326
			純資産合計		31,435,266
			負債・純資産合計		38,342,773

・涌谷町の一般会計等において383億4,300万円ほどの資産を保有しており、そのうち学校、道路などの固定資産が96.1%を占めています。  
 ・資産額から負債額を除いた純資産額は、約314億3,500万円となっています。

2. 行政コスト計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1年間の行政活動のうち、資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費(コスト)がいくらかかっているのかを整理したものです。

経常費用	金額
1 業務費用	4,455,268
(1)人件費 …… 職員給料、議員報酬、退職手当給付引当金など	1,309,911
(2)物件費等 …… 消耗品費、施設維持補修費、減価償却費など	3,067,861
(3)その他の業務費用 …… 支払利息等	77,496
2 移転支出	
・他会計への繰出金、各種団体への補助金、子ども手当や生活保護などの社会保障給付など	3,121,530
経常費用合計	7,576,798
経常収益	220,546
・町民の方々が直接負担する使用料や手数料等	220,546
臨時損失	133,981
・災害復旧事業費、投資損失引当金繰入額等	133,981
臨時利益	1,133
・資産売却益等	1,133
純行政コスト	7,489,100

・経常費用と臨時損失の合計から経常収益と臨時利益の合計を引いた純行政コストは約74億8,900万円です。  
 このコストは税金などでカバーされることになります。  
 ※町民一人当たりは、平成29年3月31日現在の住民基本台帳人口16,728人で算出

3. 純資産変動計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

貸借対照表の町の純資産が、1年間にどのような増減があったのかを表しています。

平成28年度	
前年度末純資産残高	32,828,154
純行政コスト(△)	△ 7,489,100
財源	6,053,326
・税金等	4,976,644
・国県等補助金	1,076,682
本年度差額	△ 1,435,774
無償所管換等	42,886
その他	0
当期純資産変動額	△ 1,392,888
期末純資産残高	31,435,266

・一般会計等における純資産変動額は約13億9,300万円の減少となっております。

4. 資金収支計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1年間の資金(現金預金など)の増減を、性質の異なる3つの区分に分けて表したものです。

平成28年度	
1 業務活動収支	
業務支出	5,748,580
・業務費用支出 …… 人件費、物件費、支払利息等	2,627,051
・移転費用支出 …… 補助金、他会計への繰出等	3,121,529
業務収入 …… 税金、国県補助金、使用料等	6,230,216
臨時支出 …… 災害復旧事業費等	0
臨時収入	54,322
業務活動収支	535,958
2 投資活動収支	
投資活動支出 …… 公共施設等整備費、基金積立金等	1,015,883
投資活動収入 …… 国県補助金、基金取崩、貸付金元金収入	566,139
投資活動収支	△ 449,744
3 財務活動収支	
財務活動支出 …… 地方債償還金等	800,629
財務活動収入 …… 地方債償発行収入等	714,465
財務活動収支	△ 86,164
本年度資金収支残高	50
前年度末資金残高	627,574
本年度資金残高	627,624
前年度末歳計外現金残高	11,488
本年度歳計外現金増減額	△ 1,368
本年度末歳計外現金残高	10,120
本年度末現金預金残高	637,744

・税金などにより経常的収支で生じた資金を他の収支に充てた結果、資金残高は一般会計等で約6億3,800万円となっています。  
 ・業務活動収支と投資活動収支を合わせた基礎的財政収支(プライマリーバランス)は、約8,600万円の赤字となっています。  
 ・当期の財務活動収支は、一般会計等で約8,600万円の減少となっており、公債の新規発行よりも償還の方が多かったということになります。

注

※ 各表の金額は表示単位未満を端数調整しているため、合計が一致しない場合があります。  
 ※ 矢印は、各表の収支戻の対応関係を示しています。  
 ※ 地方公会計において、「一般会計等」とは、一般会計と政令で定める特別会計及び公営企業会計以外の特別会計をさします(涌谷町においては一般会計のみ)。